

平成30年度用

小学校算数科用

新編「新しい算数」 4年
移行期 指導計画作成資料

東京書籍

2017. 10

平成27年度版 新編新しい算数 4年 年間指導計画 細案

◆ 教科書の使い方を知ろう（上巻の目次～p. 5）

時	活動内容
0.5 } 1	<p>○ 「もくじ」や「新しい算数」を使って学習しよう！のページを使って、教科書の使い方を知らせ、子どもたちが自ら教科書を有効に活用して、算数科の学び方や主体的な学習習慣が身に付けられるようにする。</p> <p>① 「もくじ」のページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「前の学習」や「後の学習」が示されていることにふれ、算数の学習はこれまでの学習をもとに積み重ねられていること、以後の学習へつながっていることに気づかせる。 ・登場するキャラクターの役割を知らせる。 <p>② 「新しい算数」を使って学習しよう！のページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の中で使われている記号の意味などを知らせ、学び方をおさえる。 ・「ほじゅうのもんだい」や「ふりかえりコーナー」については、学習習慣を身に付けるために有効なページであるため、特に児童にていねいに説明する。 ・単元内に設けられたまとめの各ページ（「力をつけるもんだい」「やってみよう」「しあげ」など）の意味を知らせる。 ・特設ページ（「おぼえているかな？」「考える力をのぼそう」「かたちであそぼう」）についても簡単に紹介する。 * 「おぼえているかな？」でタイトルや問題番号に家の形を用いているのは「家庭で既習を確認するページ」という編集意図であることにふれるとよい。 ・式や図などを用いて、自分の考えを説明したりノートに記述したりすることが算数科で求められている表現力であることをふまえ、つねにこのような学習姿勢で取り組むことを指導する。また、関連して本文の「算数マイノートをつくらう」のページを簡単に紹介するのよい。 <p>※ 「指導者・保護者の方々へ」の取り扱いについて</p> <p>これらの記述はいずれも教科書の編集意図に加え、子どもたちに学習習慣（特に家庭での自学自習）を身に付けるためには家庭での理解・協力が必須であると考え、今改訂教科書から掲載したものである。保護者の方々との連携を図りながら、教科書を有効に活用していただきたい。</p>

1. グラフや表を使って調べよう [折れ線グラフと表] 上p. 6～18

【指導時期】 4月中旬～下旬 【指導時数】 9時間

- 【単元の目標】**
- 身の回りの事象について、目的に応じて資料を折れ線グラフを用いて表したり、その特徴や傾向を読み取ったりして、統計的な見方を伸ばす。
 - 目的に応じて資料を2つの観点から分類整理して表にまとめたり、その特徴を調べたりすることができるようにし、特徴や傾向をとらえる。
 - 関・資料を折れ線グラフを用いて表すことよきや有用性に気づき、生活や学習に生かそうとする。
 - ・資料を分類整理して表にまとめることよきに気づき、生活に用いようとする。
 - 考・折れ線グラフから資料の特徴や傾向を読み取り、表現することができる。
 - ・目的に応じて分類整理する観点を設け、表から資料の特徴や傾向についてとらえることができる。
 - 技・資料を折れ線グラフに表したり、それを読んだりすることができる。
 - ・資料を落ちや重なりがないように調べ、2つの観点から分類整理して表に表したり、その表から資料の特徴を調べたりすることができる。
 - 知・折れ線グラフは数量の変化の様子を分かりやすく表すことができることを知り、その表し方や読み方を理解する。
 - ・資料の分類整理の仕方やその結果をまとめた表の表し方、特徴の調べ方を理解する。

時	目 標	学 習 活 動	おもな評価規準
(1) 折れ線グラフ 上p.6~13 5時間			
1	<p>【プロローグ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ p.6の東京とシドニーの四季の写真を提示し、四季の気温の変化の仕方を話題として取り上げる。そして、自由な話し合いなどをしながら、変化の様子を分かりやすく表すことへの興味・関心を高めるようにする。 ・ 所要時間は10分程度 		
	○折れ線グラフの読み方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京の気温の変わり方を分かりやすく表すには、どんなグラフにしたらよいか考える。 ・ 「折れ線グラフ」について知り、東京の気温の折れ線グラフを読み、気づいたことを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○変化の様子を表すのに折れ線グラフが適していることをとらえ、その特徴を調べようとしている。 ○折れ線グラフを読むことができる。
2	○折れ線の傾きと事象の変化の度合いの関係を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 折れ線グラフを見て、気温の変化の度合いを調べる。 ・ 折れ線の傾きと変化の度合いの関係をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○変化の様子について、線の傾きに表されることに着目して考え、その特徴を読み取っている。 ○折れ線の傾きと変化の度合いの関係を理解している。
3	○折れ線グラフにかき、グラフの特徴や傾向を読み取ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年間の気温の変化を折れ線グラフに表す。 ・ 東京とシドニーの気温のグラフを重ねて、気づいたことを話し合う。 <p>*デジタルコンテンツがあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○重ねてかいた折れ線グラフから、その特徴や傾向を読み取ることができる。 ○折れ線グラフのかき方を理解している。
4	○波線の意味や、折れ線グラフの表し方や読み方の工夫について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 縦軸の目盛りの間隔を大きくするために表し方を考える。 ・ 目盛りにかき入れた波線の意味を知る。 ・ グラフの中間値を推測する。 ・ 縦軸の目盛りのとり方が異なる2つの折れ線グラフを比べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○折れ線グラフから、未測量（中間値）を推測することができる。 ○目盛りに波線を用いた折れ線グラフの意味を理解している。
5	○棒グラフと折れ線グラフを重ね合わせたグラフの読み方を理解し、グラフの特徴や傾向を読み取ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 左右の縦軸がそれぞれ何を表しているのかをおさえ、グラフの読み取りをする。 ・ グラフを見て、気づいたことを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○棒グラフと折れ線グラフを重ね合わせたグラフから、資料の特徴や傾向を読み取り、説明している。 ○棒グラフと折れ線グラフを重ね合わせたグラフの読み方を理解している。
(2) 整理のしかた 上p.14~16 3時間			
6	○資料を2つの観点から分類整理する方法や、二次元表の表し方、特徴の調べ方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ けが調べの資料を、けがの種類と場所の2つの観点で整理する方法を、二次元表を基に考える。 ・ けが調べの資料を二次元表に整理する。 ・ 二次元表から資料の特徴を調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○表から資料の特徴や傾向をとらえている。 ○二次元表の表し方や特徴の調べ方を理解している。
7	○前時のけが調べの資料を、異なる観点から二次元表に表す活動を通して、二次元表についての理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時のけが調べの資料を、学年やけがをした時間やけがの種類などの観点で整理し、二次元表に表す活動に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○目的に応じて、資料を分類整理し、表に表すことのよさに気づいている。 ○資料を落ちや重なりがないように分類整理し、表に表すことができる。
8	○2つの分類項目をもつ資料を、2つの観点から分類整理し表に表す方法や、その表の読み取り方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先週と今週でそれぞれ本を借りた人と借りなかった人の人数の様子分かるように表すには、どう整理したらよいか考える。 ・ 4つの項目に分類した二次元表に整理し、 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料を二次元表に表すと、2つの観点から簡潔にとらえられるよさに気づいている。 ○2つの分類項目をもつ資料を、2つの観点から分類整理する方法や、4つの

		本の利用の様子を読み取る。	項目に分類した二次元表の読み取り方を理解している。
まとめ 上p.17~18 1時間			
9	○学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。	・「しあげ」に取り組む。	☑基本的な学習内容を身につけている。

*おぼえているかな? 上p.19 時数配当なし

—	○既習内容の理解を確認する。	・「おぼえているかな?」に取り組む。	☑既習内容について解決の仕方を理解している。
---	----------------	--------------------	------------------------

2. 角の大きさの表し方を考えよう [角の大きさ] 上p.20~37

〔指導時期〕 4月下旬~5月中旬 〔指導時数〕 10時間

- 【単元の目標】**
- 角の大きさについて単位と測定の意味を理解し、角の大きさを測定したり角をかいたりできるようにするとともに、角の大きさについて量の感覚を身につけられるようにする。
 - ☑ 角の大きさについて関心をもち、角の大きさに着目して身の回りにある図形をとらえ、生活や学習に生かそうとする。
 - ☑ 角の大きさの表し方について、既習の量の学習から類推して、単位の大きさのいくつ分と数値化して考え表現することができる。
 - ☑ 分度器を用いて角の大きさを測定したり、必要な角の大きさをかいたりすることができる。
 - ☑ 角の大きさを回転の大きさにとらえ、その単位と測定の意味を理解し、角の大きさについて豊かな感覚をもつ。

時	目標	学習活動	おもな評価規準
(1) 角の大きさ 上p.20~35 8時間			
1	〔プロローグ〕 ・ p.20の絵を提示し、角の大きさの比べ方を考える活動を通して、角の大きさは辺の長さに関係ないことなどを確認しながら、角の大きさへの興味・関心を高めるようにする。 ・ 所要時間は10分程度	・ 巻末折り込みの2枚の円を組み合わせていろいろな角をつくり、角の大きさがどのように変わるか調べる。 ・ 角の大きさを、直角を単位にして表す。 *デジタルコンテンツがあります。	☑半直線を半回転や1回転させたときの角の大きさを、直角を任意単位としてその何こ分をとらえている。 ☑半直線を左回転させると、角が大きくなり、いろいろな大きさの角ができることを理解している。
2	○分度器の観察を通して、角度の単位「度」を知る。	・ 分度器の目盛りの構造を調べる。 ・ 角度の単位「度(°)」と、1直角=90°の関係を知る。	☑1度の大きさについて関心をもち、分度器の構造を調べたり、1度の何こ分で角の大きさを表そうとしたりしている。 ☑分度器の構造や、1直角=90°の関係を理解している。
3	○分度器を使って角度を測定することができる。	・ 分度器を使った角度の測定の仕方を知り、いろいろな角度を測定する。 *デジタルコンテンツがあります。	☑分度器を使って角度を測定することができる。
4		・ 90°より大きいか、小さいかを見当をつけてから角度を測定する。 ・ 三角定規のそれぞれの角度を知る。	☑90°より大きいか小さいかを判断するなど、角の大きさについての感覚を身につけている。

5	○180° より大きい角度の測定の仕方と、対頂角の性質を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・180° より大きい角度の工夫した測定の仕方を考える。 ・2直線が交わってできる向かい合った角の大きさを調べる。 	図180° より大きい角度の測定の仕方を考え、工夫している。 図対頂角は等しいことを理解している。
6	○分度器を使って角をかいたり、三角形をかいたりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・決められた2つの角と1辺の大きさから、三角形をかく方法を考える。 ・分度器を使った角のかき方・三角形のかき方を知る。 *デジタルコンテンツがあります。	図分度器を使って角や三角形をかくことができる。 図分度器を使った角のかき方・三角形のかき方を理解している。
7		<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな大きさの角をかく。 ・正三角形をコンパスでかいて、3つの角度を測定し、すべて等しいことを確かめる。 【発展】 <ul style="list-style-type: none"> ・「算数のおはなし」を読み、360° より大きい角度があることを知り、半直線が回転してできる角の大きさへの関心をもつ。 	
8	○三角定規の角を組み合わせてできたいろいろな大きさの角度を見て、その角度の作り方を解釈し、他者に伝えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・三角定規の角を組み合わせて、いろいろな角度をつくる課題に取り組み、他者がつくった角度について考える。 ・他者の考えを読み取り、図や式などを用いて作り方を説明する。 	図三角定規の角の組み合わせ方を工夫して、いろいろな大きさの角度をつくらうとしている。 図他者が三角定規の角を組み合わせてつくった角度について、その組み合わせ方を読み取り、図や式などを用いて説明している。
まとめ 上p. 36~37 2時間			
9	○算数的活動を通して学習内容の理解を深め、角の大きさについての興味を広げる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「やってみよう」※以下の活動から選択して取り組む。 ・全円分度器を作る。 ・坂道分度器を作り、坂道の角度を測定する。 	図学習内容を適切に活用して、活動に取り組もうとしている。
10	○学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・「しあげ」に取り組む。 	図基本的な学習内容を身につけている。

3. わり算のしかたを考えよう [わり算の筆算(1)ーわる数が1けた] 上p. 38~58, 141

〔指導時期〕 5月中旬～6月中旬 〔指導時数〕 17時間

- 【単元の目標】**
- 2～3位数を1位数でわる除法計算について理解し、その計算が確実にできるようにするとともに、それを適切に用いる能力を伸ばす。
 - 関 2～3位数÷1位数の計算について、九九1回適用の除法など基本的な計算を基にできることのよさに気づき、学習に生かそうとする。
 - 考 2～3位数÷1位数の筆算の仕方について、数の構成や既習の除法計算を基に考え、表現したりまとめたりすることができる。
 - 図 2～3位数÷1位数の除法の筆算の手順を基にして、確実に計算することができる。
 - ・簡単な除法計算を暗算ですることができる。
 - 知 2～3位数÷1位数の除法の筆算の仕方や倍について理解する。

時	目 標	学 習 活 動	おもな評価規準
(1)	何十、何百のわり算 上p. 38~40 2時間		
1	[プロローグ]		

	<ul style="list-style-type: none"> ・ p. 38の絵を提示し、被除数、除数がいろいろな数の場合の除法計算について話し合い、既習の除法計算を振り返りながら、新たな課題となる2～3位数÷1位数の除法計算への興味・関心を高めるようにする。 ・ 所要時間は10分程度 		
2	○九九1回適用で商が何十や何百になるわり算（余りなし）の計算の仕方を理解し、その計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 立式し、その式になる理由を考える。 ・ $80 \div 4$の計算の仕方を考える。 ・ $600 \div 3$の計算の仕方を考える。 ・ 計算練習をする。 	<p>図 $80 \div 4$や$600 \div 3$のような計算は、10や100を単位にすれば、九九を1回適用して計算できることのよさに気づいている。</p> <p>図 $80 \div 4$や$600 \div 3$のような計算ができる。</p>
(2) わり算の筆算 (1) 上p. 41～48 7時間			
3	○2位数÷1位数（余りなし）の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題場面から数量の関係をとらえ、立式する。 ・ $72 \div 3$の計算の仕方を考える。 	<p>図2位数÷1位数の計算の仕方を、既習の除法計算を基に、具体物や式を用いて考え、説明している。</p>
4		<ul style="list-style-type: none"> ・ $72 \div 3$の筆算の仕方をまとめる。 ・ $72 \div 3$の答えの確かめをする。 ・ 計算練習をする。 	<p>図2位数÷1位数（余りなし）の筆算ができる。</p>
5	○2位数÷1位数（余りありで、各位ともわり切れない）の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題場面から数量の関係をとらえ、立式する。 ・ $76 \div 3$の筆算の仕方を考える。 ・ 「商」「和」「差」「積」について知る。 ・ $76 \div 3$の計算の検算をする。 ・ 余りや各位の商の大きさに着目し、2位数÷1位数の筆算の誤りを指摘する。 	<p>図2位数÷1位数（余りありで、各位ともわり切れない）の筆算ができる。</p>
6		<ul style="list-style-type: none"> ・ 計算練習をする。 	
7	○2位数÷1位数（余りありで、十の位でわり切れる）の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ $86 \div 4$、$62 \div 3$の筆算の仕方を考える。 ・ 計算練習をする。 ・ 「算数新発見！」を読み、3年で既習の除法も筆算で計算できることを知り、筆算の理解を深める。 	<p>図2位数÷1位数（余りありで、十の位でわり切れる）の筆算ができる。</p>
8	○3位数÷1位数=3位数（各位ともわり切れない、及び一の位でわり切れる）の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題場面から数量の関係をとらえ、立式する。 ・ $734 \div 5$の筆算の仕方を考える。 ・ $734 \div 5$の筆算の仕方をまとめる。 ・ $734 \div 5$の計算の検算をする。 ・ 計算練習をする。 	<p>図3位数÷1位数の筆算の仕方を、既習の2位数÷1位数の筆算と同じ手順で、具体物や式を用いて考え、説明している。</p> <p>図3位数÷1位数=3位数（各位ともわり切れない、及び一の位でわり切れる）の筆算ができる。</p>
9	○3位数÷1位数=3位数（商に空位を含む、及び百の位や十の位でわり切れる）の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ $843 \div 4$、$619 \div 3$の筆算の仕方を考える。 ・ 計算練習をする。 	<p>図3位数÷1位数=3位数（商に空位を含む、及び百の位や十の位でわり切れる）の筆算ができる。</p>
(3) わり算の筆算 (2) 上p. 49～51 2時間			
10	○3位数÷1位数=2位数（首位に商がたたない）の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題場面から数量の関係をとらえ、立式する。 ・ $256 \div 4$の筆算の仕方を考える。 	<p>図$256 \div 4$の筆算の仕方について、具体物や式を用いて考え、説明している。</p>
11		<ul style="list-style-type: none"> ・ $256 \div 4$の筆算の仕方をまとめる。 ・ $256 \div 4$の計算の検算をする。 ・ 計算練習をする。 	<p>図3位数÷1位数=2位数（首位に商がたたない）の筆算ができる。</p>
(4) 倍の計算 上p. 52～54 3時間			
12	○倍を求める場合も、除法を	<ul style="list-style-type: none"> ・ 15mが3mの何倍かを求めるには、どんな計 	<p>図数直線を用いて数量の関係をとら</p>

	用いばよいことを理解する。	算をすればよいのかを数直線を基に考える。 ・「3mの□倍が15m」の関係をおさえて、 $3 \times \square = 15$ の式で確認する。 ・基準量の何倍かを求めるには除法を用いばよいことをまとめる。	え、説明しようとしている。 ☒ 倍を求めるには、除法を用いばよいことを理解している。
13	○比較量を求めるには乗法を用いばよいことを理解する。	・180cmの3倍にあたる大きさを求めるには、どんな計算をすればよいのかを数直線を基に考える。 ・基準量の何倍かにあたる量を求めるには乗法を用いることをおさえ、数量の関係をまとめる。	☒ 数直線を用いて数量の関係をとらえ、説明しようとしている。 ☒ 比較量を求めるには、乗法を用いばよいことを理解している。
14	○基準量を求める場合は、□を用いて乗法の式に表し、除法を用いて□を求めればよいことを理解する。	・数量の関係を数直線を基に考え、□を用いて乗法の式に表す。 ・□にあてはまる数を求めるには、除法を用いるか、数をあてはめて調べるかをすればよいことをおさえる。	☒ 数量の関係を数直線を基にとらえ、□を用いた式に表すことを考え、説明している。 ☒ 未知数を□として乗法の式に表し、□の値を求めることができる。
(5) 暗算 上p. 55~56 1時間			
15	○2位数÷1位数=2位数の除法の暗算と、10, 100の倍数(3位数)を1位数でわる除法の暗算の仕方を理解し、それらの暗算ができる。	・ $74 \div 2$ の暗算の仕方を考える。 ・暗算の練習をする。 ・ $740 \div 2$ の暗算の仕方を考える。 ・暗算の練習をする。 ・「算数のおはなし」を読み、世界の国々のわり算の筆算の仕方を比べ、筆算の理解を深める。	☒ 2~3位数÷1位数の暗算の仕方を、被除数を分解したり、被除数の相対的な大きさをとらえたりして、既習の暗算に帰着して考え、説明している。 ☒ 簡単な2~3位数÷1位数の暗算ができる。
まとめ 上p. 57~58, 141 2時間			
16	○学習内容を適用して問題を解決する。	・「力をつけるもんだい」に取り組む。	☒ 学習内容を適用して、問題を解決することができる。
17	○学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。	・「しあげ」に取り組む。	☒ 基本的な学習内容を身につけている。
	・【発展】巻末p. 141の「おもしろ問題にチャレンジ!」に取り組む、単元の学習内容を基にわり算の筆算についての理解を深める。		

*** おぼえているかな? 上p. 59 時数配当なし**

—	○既習内容の理解を確認する。	・「おぼえているかな?」に取り組む。	☒ 既習内容について解決の仕方を理解している。
---	----------------	--------------------	-------------------------

4. 四角形を調べよう [垂直・平行と四角形] 上p. 60~83, 142

【指導時期】6月中旬~7月中旬 【指導時数】16時間

- 【単元の目標】**
- 直線の位置関係や四角形についての観察や構成などの活動を通して、直線の垂直や平行の関係、台形、平行四辺形、ひし形について理解し、図形についての見方や感覚を豊かにする。
 - ☒ 身の回りから垂直な2直線や平行な2直線及び、台形、平行四辺形、ひし形などを見つけ、それらが使われる場面について考えようとしている。
 - ☒ 辺の位置関係や構成要素を基に、各四角形の性質を見出し表現したり、各四角形の対角線の性質を統合的にとらえたりすることができる。
 - ☒ 垂直な2直線や平行な2直線及び、台形、平行四辺形、ひし形をかくことができる。

図・垂直な2直線や平行な2直線及び、台形、平行四辺形、ひし形の意味や性質について理解し、図形についての豊かな感覚をもつ。

時	目 標	学 習 活 動	おもな評価規準
(1) 直線の交わり方 上p. 60～63 2時間			
1	〔プロローグ〕 ・ p. 60の柵、車庫の写真を提示し、4本の直線が交わってできる四角形、直角に着目する。次に、カードにかかれた点のうち、4つの点を選んで結び、四角形をつくる活動に取り組む。直線の交わり方や、直線がいろいろ交わってできる四角形について気づいたことを自由に話し合いながら、垂直・平行やいろいろな四角形など平面図形についての興味・関心を高めるようにする。 ・ 所要時間は10分程度		
	○2本の直線の交わり方を調べる活動を通して、垂直の意味を知り、その弁別ができる。	・2本の直線の交わり方を調べる。 ・「垂直」の意味を知る。	図交わってできる角に着目して、直線の交わり方を調べている。 図垂直の意味を理解している。
2	○三角定規を使って、垂直な直線をひくことができる。	・2枚の三角定規を使った垂直な直線のひき方を考える。 ・垂直な直線をひく。 *デジタルコンテンツがあります。	図垂直な直線のひき方について、三角定規の直角部分に着目して考え、説明している。 図三角定規を使って、垂直な直線をひくことができる。
(2) 直線のならび方 上p. 64～70 4時間			
3	○2本の直線の並び方を調べる活動を通して、平行の意味を知り、その弁別ができる。	・直線の並び方を調べる。 ・「平行」の意味を知る。 ・長方形の垂直な辺、平行な辺を調べる。	図平行な直線を弁別することができる。 図平行の意味を理解している。
4	○平行な直線は他の直線と等しい角度で交わることや、平行な直線の間の距離は一定であることを理解する。	・平行な直線と、それと交わる直線のできる角度を調べる。 ・平行な直線は、他の直線と等しい角度で交わることをまとめる。 ・平行な直線の幅を調べる。 ・平行な2直線間の距離は一定であることをまとめる。 ・「算数新発見！」を読み、幅が等しくても直線でなければ平行とはいわないことを知り、平行の理解を深める。 ・「算数のおはなし」を読み、漢字「平」「行」の成り立ちを知り、平行の理解を深める。	図平行な直線は他の直線と等しい角度で交わることや、平行な直線の間の距離は一定であることを理解している。
5	○三角定規を使って、平行な直線をひくことができる。	・2枚の三角定規を使った平行な直線のひき方を考える。 ・平行な直線をひく。 *デジタルコンテンツがあります。	図平行な直線のひき方について、同位角が等しいことに着目して考え、説明している。 図三角定規を使って、平行な直線をひくことができる。
6	○方眼上の直線の垂直や平行の関係を理解する。	・方眼を手がかりにして、垂直や平行な直線の見つけ方を考える。	図方眼を手がかりに垂直な直線や平行な直線の弁別の仕方を理解している。
(3) いろいろな四角形 上p. 71～77 6時間			
7	○四角形を分類する活動を通して、台形と平行四辺形の意味を理解する。	・図を見て、四角形の仲間分けをする。 ・「台形」と「平行四辺形」の意味を知る。 ・方眼や平行な直線を用いて、平行四辺形、台形をかく。	図平行な辺の組の数に着目して、四角形を分類しようとしている。 図台形、平行四辺形の意味を理解している。

8	○平行四辺形の性質を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・辺の長さや角の大きさを調べ、平行四辺形の特徴を調べる。 ・平行四辺形の性質をまとめる。 ・「算数新発見！」を読み、長方形と平行四辺形の共通した特徴を調べ、平行四辺形の理解を深める。 	<p>図辺の位置関係、辺の長さ、角の大きさに着目して、平行四辺形の性質を見出し、説明している。</p> <p>図平行四辺形の性質を理解している。</p>
9	○平行四辺形をかくことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・平行四辺形のかき方を考える。 ・平行四辺形の意味や性質を用いて、平行四辺形をかく。 	<p>図平行四辺形のかき方を、平行四辺形の意味や性質を活用して考え、説明している。</p>
10		<ul style="list-style-type: none"> ・適用問題に取り組む。 	<p>図平行四辺形をかくことができる。</p>
11	○ひし形の意味や性質を理解し、ひし形をかくことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひし形」の意味を知る。 ・ひし形の性質をまとめる。 ・ひし形をかく。 ・「算数新発見！」を読み、正方形とひし形の共通した特徴を調べ、ひし形の理解を深める。 	<p>図辺の位置関係、辺の長さ、角の大きさに着目して、ひし形の性質を見出し、説明している。</p> <p>図ひし形をかくことができる。</p>
12	○算数的活動を通して学習内容の理解を深め、四角形についての興味を広げる。	<ul style="list-style-type: none"> ・[やってみよう] ※以下の活動から選択して取り組む。 ・巻末折り込みの平行四辺形を使って敷き詰めをする。 ・身のまわりから四角形の形をしたものをさがす。 ・「算数新発見！」を読み、等脚台形とたこ形を知る。 	<p>図学習内容を適切に活用して、活動に取り組もうとしている。</p>
(4) 対角線と四角形の特ちょう 上p. 78~80 2時間			
13	○対角線の意味と、いろいろな四角形の対角線の特徴を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな四角形の頂点を直線で結び、その特徴を調べる。 ・「対角線」の意味を知る。 ・いろいろな四角形の対角線の特徴をまとめる。 ・「算数新発見！」を読み、等脚台形とたこ形の対角線を調べ、対角線の理解を深める。 	<p>図四角形の相互関係について、対角線の特徴を基に考え、とらえている。</p> <p>図対角線の意味と、いろいろな四角形の対角線の特徴を理解している。</p>
14	○長方形、平行四辺形、ひし形を対角線で分割してできる、2つの三角形は合同であることを知り、これらを使っていろいろな四角形をつくることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・長方形、平行四辺形、ひし形を1本の対角線で切り分けてできる、2つの三角形について調べる。 ・これらを組み合わせて、いろいろな四角形をつくる。 	<p>図合同な2つの三角形を組み合わせていろいろな四角形をつくることができる。</p> <p>図1本の対角線で分けてできた2つの三角形は合同であることを理解している。</p>
まとめ 上p. 81~83, 142 2時間			
15	○学習内容を適用して問題を解決する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「力をつけるもんだい」に取り組む。 	<p>図学習内容を適用して、問題を解決することができる。</p>
16	○学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・「しあげ」に取り組む。 	<p>図基本的な学習内容を身につけている。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・【発展】巻末p. 142の「おもしろ問題にチャレンジ！」に取り組む、単元の学習内容を基に四角形についての理解を深める。 	

*考える力をのばそう「ちがいに目をつけて」 上p. 84～85 1時間

1	○分配や移動を伴う2量の差に着目し、問題構造を図に表して問題を解決することを通して、問題構造を簡潔にとらえられる図のよさに気づくとともに、問題を解決する能力を高める。	<ul style="list-style-type: none"> 問題の構造を、分配や移動を伴う2量の差に着目して、線分図に表して考える。 上で表した図を用いて、説明する。 適用問題に取り組む。 	<p>図図に表して問題構造を簡潔にとらえようとしている。</p> <p>図分配や移動を伴う2量の差に着目して、関係を単純化してとらえ、言葉や図、式を用いて説明している。</p>
---	---	--	--

そろばん 上p. 86～87

〔指導時期〕 7月中旬 〔指導時数〕 2時間

- 【単元の目標】
- そろばんの仕組みについての理解を深め、そろばんを用いて、整数や小数の加減計算ができるようになる。
 - 関・そろばんの仕組みについて、十進位取り記数法の仕組みと関連づけてとらえようとしている。
 - 考・そろばんを用いた小数の加減計算の仕方を、十進位取り記数法の仕組みを基にして考え、表現することができる。
 - 技・そろばんを用いて、整数や小数の加減計算をすることができる。
 - 知・そろばんの仕組みや、そろばんを用いた整数や小数の加減計算の仕方を理解する。

時	目標	学習活動	おもな評価規準
(1) そろばん 上p. 86～87 2時間			
1	○そろばんを用いた整数や小数の表し方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> そろばんの各部分の名称を振り返るとともに、千万の位などの整数の位や小数の位の位置を知り、そろばんにいろいろな大きさの数を入れる。 *デジタルコンテンツがあります。 	<p>図そろばんの仕組みについて、十進位取り記数法の仕組みを関連づけてみようとしている。</p> <p>図そろばんを用いた整数や小数の表し方を理解している。</p>
2	○そろばんを用いた小数の加減計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> 8.4+1.3, 8+4.6, 8.4-1.3, 8-4.6の計算を通して、そろばんでの小数の加減計算の仕方を考え、たし算やひき算の運珠の仕方の理解を深める。 	<p>図そろばんを用いた小数の加減計算の仕方を、十進位取り記数法の仕組みを基にして考え、説明している。</p> <p>図そろばんを用いた小数の加減計算ができる。</p>

5. 1億より大きい数を調べよう [大きい数のしくみ] 上p. 88～98, 143

〔指導時期〕 9月上旬～中旬 〔指導時数〕 6時間 (増減なし)

- 【単元の目標】
- 億や兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深め、数を用いる能力を伸ばす。
 - 関・どのような大きい整数でも、十進位取り記数法や4桁区切りによる命数法(万進法)によって表すことのできるよさに気づき、大きい数をとらえたり用いたりしようとする。
 - 考・一億までの整数の仕組みや表し方を基に、億や兆の単位を用いた整数の仕組みについて類推して考え、そのことから十進位取り記数法についてまとめることができる。
 - 技・十進位取り記数法に基づいて、億や兆の単位を用いた整数を読んだり、**整数を10倍、100倍、1000倍、1/10にした大きさを表したり**、3位数以上の整数の乗法を計算したりすることができる。
 - 知・億や兆の単位を知り、整数が十進位取り記数法によって表されていることについての理解を深める。

時	目 標	学 習 活 動	おもな評価規準
(1) 大きい数のしくみ 上p. 88~93 2時間			
1	<p>【プロローグ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ p. 88の図を提示し、日本の都道府県の人口を話題として取り上げ、既習の数の読み方を振り返るとともに、未習の大きい数についての興味・関心を高めるようにする。 ・ 所要時間は10分程度 		
	○一億以上の数の構成、読み方、書き方や、一億、十億、百億、千億の数の大きさと命数法、記数法を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の人口の数の読み方を考える。 ・ 茨城県の農業産出額の数の読み方を考える。 ・ 「一億」「十億」「百億」「千億」の意味を知る。 	<p>○ 図億の単位を用いた数について、既習の一億までの数の仕組みを基に考え、説明している。</p> <p>○ 図億の単位を用いた数を読んだり、書いたりすることができる。</p>
2	○一兆以上の数の構成、読み方、書き方や、一兆、十兆、百兆、千兆の数の大きさと命数法、記数法を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンビニエンスストアの売上高の数の読み方を考える。 ・ 「一兆」「十兆」「百兆」「千兆」の意味を知る。 ・ 整数の位取りの仕組みをまとめる。 ・ 大きい数を読んだり、書いたりする。 ・ 「算数新発見！」を読み、具体的な場面では数を3桁ごとに区切る表し方があることに興味をもつ。 	<p>○ 図兆の単位を用いた数の読み方を通して、十進位取り記数法や万進法のよさに気づいている。</p> <p>○ 図兆の単位を用いた数を読んだり、書いたりすることができる。</p>
(2) 整数のしくみ 上p. 94~95 2時間			
3	○整数を10倍、100倍、1000倍した数や1/10にした数の表し方を理解し、十進位取り記数法の仕組みを確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 25億を10倍、100倍、1000倍した数や1/10にした数の並び方を比べる。 	<p>○ 図整数を10倍、100倍、1000倍した数や1/10にした数から整数の仕組みを考え、十進位取り記数法の仕組みをまとめている。</p> <p>○ 図整数を10倍、100倍、1000倍した数や1/10にした数を表すことができる。</p>
4	○0から9までの数字で、どんな大きさの整数でも表せることを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 0から9までの数字を使って、10桁の整数をつくる。 ・ 10個の数字で、どんな大きさの整数でも表せることをまとめる。 <p>【発展】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「算数のおはなし」を読み、兆より大きい数の単位があることを知り、大きい数への関心をもつ。 	<p>○ 図0から9までの数字で、どんな数でも表せるという十進位取り記数法のよさに気づいている。</p> <p>○ 図整数は十進位取り記数法によって表されていることを理解している。</p>
(3) かけ算 上p. 96~97 1時間			
5	○3位数×3位数の筆算や、末尾に0のある数の乗法の簡便な筆算の仕方を理解し、その計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 365×148の筆算の仕方を、既習の筆算を基に考える。 ・ 5400×320の簡便な筆算の仕方を考える。 	<p>○ 図3位数×3位数の筆算や、末尾に0のある数の乗法の簡便な筆算の仕方を、既習の筆算や十進位取り記数法の仕組みに着目して考え、説明している。</p> <p>○ 図3位数×3位数の筆算や、末尾に0のある数の乗法の筆算ができる。</p>
まとめ 上p. 98, 143 1時間			
6	○学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「しあげ」に取り組む。 	<p>○ 図基本的な学習内容を身につけている。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 【発展】 巻末p. 143の「おもしろ問題にチャレンジ！」に取り組み、単元の学習内容を基に大きい数についての理解を深める。 		

* おぼえているかな? 上p. 99 時数配当なし

一	○既習内容の理解を確認する。	・「おぼえているかな?」に取り組む。	☒既習内容について解決の仕方を理解している。
---	----------------	--------------------	------------------------

6. わり算の筆算を考えよう [わり算の筆算(2) 一わる数が2けた] 上p. 100~116, 144

〔指導時期〕 9月中旬~10月上旬 〔指導時数〕 14時間

- 【単元の目標】
- 整数の除法の計算について理解し、その計算が確実にできるようにするとともに、それを適切に用いる能力を伸ばす。
 - ☒ ・ 整数の除法の計算について、既習の基本的な計算を基にしてできることよき気づき、学習に生かそうとする。
 - ☒ ・ 整数の除法の計算の仕方について、見積もりや除法の性質、既習の除法計算を基に考え、表現したりまとめたりすることができる。
 - ☒ ・ 整数の除法の筆算の手順を基にして、確実に計算することができる。
 - ☒ ・ 整数の除法の筆算の仕方や除法について成り立つ性質について理解する。

時	目 標	学 習 活 動	おもな評価規準
(1) 何十でわる計算 上p. 100~102 1時間			
1	<p>【プロローグ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ p. 100の図を提示し、何十×□の式の、条件に合う□にあてはまる数について話し合いながら、新たな課題となる、除数が2桁の除法計算への興味・関心を高めるようにする。 ・ 所要時間は10分程度 		
	○何十でわる計算の仕方を理解し、その計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題場面から数量の関係をとらえ、立式する。 ・ $60 \div 20$の計算の仕方を考える。 ・ $60 \div 20$の計算の仕方をまとめる。 ・ 計算練習をする。 ・ $90 \div 20$の計算の仕方を考える。 ・ 計算練習をする。 	☒10を単位として、何十でわる計算の仕方を考え、説明している。 ☒何十でわる計算ができる。
(2) 2けたの数でわる筆算(1) 上p. 103~109 6時間			
2	○2位数÷2位数(仮商修正なし)の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題場面から数量の関係をとらえ、立式する。 ・ $84 \div 21$の筆算の仕方を考える。 ・ 除数を20(切り捨て)とみて、商の見当をつける。 ・ $84 \div 21$の筆算の仕方をまとめる。 	☒ $84 \div 21$ などの計算で、前時の何十でわる計算を用いて商を見積もろうとしている。 ☒除数何十の場合の計算を基にして、2位数÷2位数(仮商修正なし)の筆算の仕方を考え、説明している。
3		<ul style="list-style-type: none"> ・ $87 \div 21$の筆算をする。 ・ $87 \div 21$の計算の検算をする。 ・ 計算練習をする。 ・ 「算数新発見!」を読み、商の見当をつける際、被除数と除数の両方をまるめる方法があることを知る。 	
4	○2位数÷2位数の筆算で、過大商をたてたときの仮商修正の仕方を理解し、その計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ $86 \div 23$の筆算の仕方を考える。 ・ 除数を20(切り捨て)とみて、商の見当をつける。 ・ 過大商の場合の仮商修正1回の仕方を理解し、この型の計算練習をする。 ・ $81 \div 12$の筆算の仕方を考える。 	☒見積もりをして仮商をたてて過大商のときの仮商を修正し、計算することができる。

		<ul style="list-style-type: none"> ・過大商の場合の仮商修正2回の仕方を理解し、この型の計算練習をする。 	
5	○2位数÷2位数の筆算で、過小商をたてたときの仮商修正の仕方を理解し、その計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・$78 \div 19$の筆算の仕方を考える。 ・除数を20(切り上げ)とみて、商の見当をつける。 ・過小商の場合の仮商修正の仕方を理解し、この型の計算練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○見積もりをして仮商をたてて過小商のときの仮商を修正し、計算することができる。
6	○2位数÷2位数の筆算で、除数の切り捨てや切り上げを選んで仮商をたてて計算することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・$87 \div 25$の筆算の仕方を考える。 ・除数を切り捨てた(過大商)場合と、切り上げた(過小商)場合の筆算の仕方を比べる。 ・自分が仮商をたてやすい除数の処理の仕方を考える。 ・計算練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の数感覚を基に、仮商のたて方を選んで計算しようとしている。 ○除数の見積もりを基に、仮商のたて方を工夫して考え、説明している。
7	○3位数÷2位数=1位数の筆算の仮商のたて方を理解し、その計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・$153 \div 24$の筆算の仕方を考える。 ・計算練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○$3 \text{位数} \div 2 \text{位数} = 1 \text{位数}$の筆算ができる。
(3) 2けたの数でわる筆算(2) 上p. 110~112 3時間			
8	○ $3 \text{位数} \div 2 \text{位数} = 2 \text{位数}$ の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・問題場面から数量の関係をとらえ、立式する。 ・$345 \div 21$の筆算の仕方を考える。 ・$345 \div 21$の筆算の仕方をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○既習の除法の計算を基に、$345 \div 21$などの計算の仕方を図や式を用いて考え、説明している。
9	○ $3 \text{位数} \div 2 \text{位数} = 2 \text{位数}$ の筆算で、除数の切り捨てや切り上げを選んで仮商をたてて計算することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・計算練習をする。 ・$476 \div 15$で、除数を切り捨てた(過大商)場合と、切り上げた(過小商)場合の筆算の仕方を比べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○$3 \text{位数} \div 2 \text{位数} = 2 \text{位数}$の筆算ができる。
10	○商に0がたつ場合(商が何十)の簡便な筆算の仕方や、除数が3桁の場合の筆算の仕方を理解し、それらの計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・$941 \div 23$, $960 \div 16$の筆算の仕方を考える。 ・計算練習をする。 ・$732 \div 216$の筆算の仕方を考える。 ・216を200とみて、仮商をたてる。 ・計算練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○除数が2桁の場合の筆算の仕方を基に、$3 \text{位数} \div 3 \text{位数}$の筆算の仕方を考え、説明している。 ○商に0がたつ場合(商が何十)の簡便な筆算の仕方や、除数が3桁の場合の筆算の仕方を理解している。
(4) わり算のせいしつ 上p. 113~114 2時間			
11	○除法の性質について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・商が等しいわり算の式を見比べて除法の性質について考える。 ・除法の性質をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○複数の式から、被除数と除数、商の関係を見出し、説明している。 ○被除数、除数の両方に同じ数をかけても、両方を同じ数でわっても、商は変わらないという、除法の性質を理解している。
12	○末尾に0のある数の除法の簡便な筆算の仕方を理解し、正しく余りを求めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・$24000 \div 500$の筆算の仕方を考え、末尾に0のある数の除法の簡便な筆算の仕方をまとめる。 ・$2700 \div 400$の筆算の仕方と、末尾に0のある数の除法での余りの求め方を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○末尾に0のある数の除法の簡便な方法による筆算や余りを求めることができる。
まとめ 上p. 115~116, 144 2時間			
13	○学習内容を適用して問題を解決する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「力をつけるもんだい」に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容を適用して、問題を解決することができる。
14	○学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・「しあげ」に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な学習内容を身につけている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・【発展】巻末p.144の「おもしろ問題にチャレンジ!」に取り組み、単元の学習内容を基にわり算の筆算についての理解を深める。
--	--

***かたちであそぼう「コンパスを使って」 上p.117 1時間**

1	<p>○コンパスを使って、いろいろな形をかいたり、円周のおよその長さを調べたりする活動を通して、図形に親しみ、その楽しさを味わう。</p>	<p>・ノートや工作用紙に、コンパスを使って、いろいろな形をかく。</p> <p>【発展】</p> <p>・1cmの長さを開いたコンパスで円周を区切って、円周のおよその長さを調べる。</p>	<p>●円を組み合わせて、いろいろな形をかこうとしている。</p> <p>●円の中心の位置、半径に着目し、形をつくるには円をどのように組み合わせればよいかを考え、説明している。</p>
---	---	---	--

7. およその数の表し方を考えよう [がい数の表し方] 上p.118~130

〔指導時期〕 10月上旬~下旬 〔指導時数〕 8時間

- 【単元の目標】**
- 概数について理解し、目的に応じて、概数を用いたり四則計算の見積もりをしたりすることができるようにする。
 - 概数を用いることのよさに気づき、生活や学習で概数や四則計算の見積もりを用いようとする。
 - 概数を用いる場合や概数にする方法、概算の仕方について、その目的に応じて考え、判断することができる。
 - 技 目的に応じた方法で、概数にしたり、四則計算を概数で見積もったりすることができる。
 - 知 概数の意味や概数にする方法、概算の仕方について理解する。

時	目 標	学 習 活 動	おもな評価規準	
(1) およその数の表し方 上p.118~125 5時間				
1	<p>【プロローグ】</p> <p>・ p.118の絵を提示し、同じ数が、正確な数とおよその数で表されている場面を対比し、自由な話し合いなどをしながら概数の存在に気づき、概数についての興味・関心を高めるようにする。</p> <p>・ 所要時間は10分程度</p>	<p>○きっちりの数をおよその数にすることを通して、概数の意味について理解する。</p>	<p>●町の人口21034人、32756人、38412人の、およその数の表し方について考える。</p> <p>●「がい数」の意味と、「約」を用いて表すことを知る。</p>	<p>●概数を用いると大きさがとらえやすくなるなどの概数のよさに気づいている。</p> <p>●概数の意味を理解している。</p>
2	<p>○四捨五入の意味とその方法を理解する。</p>	<p>・町の小学生の人数1263人と1825人を概数で約何千人と表す仕方を考える。</p> <p>・「四捨五入」や「切り捨て」、「切り上げ」の意味を知り、その方法をまとめる。</p>	<p>●四捨五入して概数にすることができる。</p> <p>●四捨五入の意味とその方法を理解している。</p>	
3	<p>○「四捨五入して○の位までの概数にする」ときの表現や四捨五入の仕方を理解する。</p>	<p>・市立図書館にある本と児童書の数を四捨五入して、一万の位までの概数にする仕方を考える。</p> <p>・四捨五入して、一万の位までの概数にする場合は、何の位に着目すればよいかをまとめる。</p>	<p>●四捨五入して概数にすることができる。</p> <p>●「○の位までの概数にする」ときの四捨五入の仕方を理解している。</p>	
4	<p>○「四捨五入して上から○桁の概数にする」ときの表現や四捨五入の仕方を理解する。</p>	<p>・市立図書館にある本と児童書の数を四捨五入して、上から1桁までの概数にする仕方を考える。</p> <p>・四捨五入して、上から1桁までの概数にする場合は、何の位に着目すればよいかをま</p>	<p>●四捨五入して概数にすることができる。</p> <p>●「上から○桁の概数にする」ときの四捨五入の仕方を理解している。</p>	

		とめる。	
5	○四捨五入して概数にする前の、もとの数の範囲や、「以上」「未満」「以下」の意味を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・四捨五入して約130kmになるのは、何kmから何kmまでの間になるかを考える。 ・四捨五入して十の位までの概数にしたとき、130になる整数の範囲をまとめる。 ・数の範囲を表す言葉として、「以上」「未満」「以下」の意味を知る。 ・「算数のおはなし」を読み、身の回りで使われている切り上げの例を知り、概数の理解を深める。 	㊦四捨五入して概数にする前の、もとの数の範囲を求めることができる。 ㊦「以上」「未満」「以下」の意味を理解している。
(2) がい数を使った計算 上p.126~129 2時間			
6	○目的に応じて、概数を用いた和や差の見積りの仕方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・3人の目的に応じた代金の見当のつけ方を考える。 ・目的に応じて、概数にする方法を選ぶとよいことをまとめる。 	㊦目的に応じた和や差の見積りの仕方を考え、説明している。 ㊦概数を用いて和や差を見積もることができる。
7	○概数を用いた積や商の見積もりができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・620×39を概数で見積もる方法を考える。 ・乗法の場合、上から1桁の概数で見積もるとよいことを知り、積を概数で求める。 ・$38220 \div 39$を概数で見積もる方法を考える。 ・除法の場合も上から1桁の概数で見積もるとよいことを知り、商を概数で求める。 	㊦概数を用いた積や商の見積りの仕方を考え、説明している。 ㊦概数を用いて積や商を見積もることができる。
まとめ 上p.130 1時間			
8	○学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。	・「しあげ」に取り組む。	㊦基本的な学習内容を身につけている。

8 計算のやくそくを調べよう [計算のきまり] 下p.2~10, 126

[指導時期] 10月下旬~11月上旬 [指導時数] 8時間

- 【単元の目標】**
- 計算の順序に関わるきまりについて理解するとともに、四則に関して成り立つ性質について理解を深め、必要に応じて活用できるようにする。
 - ㊦ ・ () を用いて1つの式に表すと、数量の関係を簡潔に表すことができるなどのよさに気づき、学習に用いようとする。
 - ㊦ ・ 四則に関して成り立つ性質を用いて計算を簡単に行う工夫について考え、表現することができる。
 - ㊦ ・ 四則混合計算や () を用いた式の計算や、四則に関して成り立つ性質を用いて計算の仕方を工夫することができる。
 - ㊦ ・ 四則混合計算や () を用いた式の計算の順序を理解し、四則に関して成り立つ性質についての理解を確実にする。

時	目標	学習活動	おもな評価規準
(1) 計算のじゅんじょ 下p.2~6 4時間			
1	○2つの式で表される場面を、() を用いて1つの式に表すことができ、その式の計算順序を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・2段階構造の問題を1つの式に表す仕方を考える。 ・() のある式の計算順序をまとめ、その計算をする。 	㊦ () の中をひとまとまりと見て、() を用いて1つの式に表すことを考えている。 ㊦ 2つの式で表される場面を、() を用いて1つの式に表すことができる。

2	○四則混合の式の表し方や計算順序を理解し、その計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・加減と乗除の2段階構造の問題を1つの式に表し、その計算順序を考える。 ・乗除は加減よりも先に計算することをまとめる。 	<p>☑複数の式で表される場面を1つの式に表すことができる。</p> <p>☑四則混合の式の計算順序を理解している。</p>
3		<ul style="list-style-type: none"> ・四則混合の3段階構造の式の計算順序を考える。 ・四則混合や()のある式の計算順序をまとめる。 	
4	○ドットの数の求め方を、まとめたり移動させたりするなど工夫して考え、1つの式に表すことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ドットの数を工夫して求め、求め方を1つの式に表す。 ・他者の考えを読み取り、言葉や式、図に表す。 ・「算数新発見！」を読み、ドットの数が増えたときの、ドットの数求め方を考える。 	<p>☑1つの式に表すと、数量の関係を簡潔に表せることのよさに気づいている。</p> <p>☑ドットの数の求め方を、まとめたり移動させたりするなど工夫して考え、1つの式に表して説明している。</p>
(2) 計算のきまり 下p.7~9 3時間			
5	○分配法則を■や●などを使って一般的にまとめたり、それを用いて計算を簡単に行う工夫を考えたりすることを通して、分配法則についての理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・合計の個数の求め方を考える。 ・$(11+4) \times 8$と$11 \times 8 + 4 \times 8$とを、等号でつなげられることを確かめる。 ・■や●などに数をあてはめ、式が成り立つことを確かめ、分配法則について一般的にまとめる。 ・分配法則を用いて、計算方法を工夫する。 	<p>☑分配法則を■や●などを用いて、一般化してとらえようとしている。</p> <p>☑分配法則について理解している。</p>
6	○交換法則、結合法則を■や●などを使って一般的にまとめたり、それらを用いて計算を簡単に行う工夫を考えたりすることを通して、交換法則、結合法則についての理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・交換、結合法則を用いて、計算の工夫の仕方を考える。 ・■や●などに数をあてはめ、式が成り立つことを確かめ、加法と乗法の交換、結合法則について一般的にまとめる。 ・加法についての交換、結合法則が、小数でも成り立つことを確かめる。 ・計算のきまりを用いて、計算方法を工夫する。 	<p>☑計算法則を用いて計算を簡単に行うための工夫を考え、説明している。</p> <p>☑交換法則や結合法則を用いて、計算の工夫をすることができる。</p>
7	○乗数を10倍すると積も10倍になり、被乗数と乗数をそれぞれ10倍すると積は100倍になるという乗法の性質を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・$3 \times 6 = 18$の式を基にして、3×60や、30×60の答えの求め方を考える。 ・$3 \times 6 = 18$、$3 \times 60 = 180$、$30 \times 60 = 1800$の3つの式を見比べ、気づいたことを話し合う。 ・乗法では乗数を10倍すると積も10倍になる、被乗数と乗数をそれぞれ10倍すると積は100倍になるという性質をまとめる。 	<p>☑乗数や被乗数と積の関係を見出し、その関係について計算法則を用いて説明している。</p> <p>☑乗数を10倍すると積も10倍になり、被乗数と乗数をそれぞれ10倍すると積は100倍になるという乗法の性質を理解している。</p>
まとめ 下p.10, 126 1時間			
8	○学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・「しあげ」に取り組む。 	<p>☑基本的な学習内容を身につけている。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・【発展】巻末p.126の「おもしろ問題にチャレンジ！」に取り組み、単元の学習内容を基に計算のきまりについての理解を深める。 		

* おぼえているかな? 下p.11 時数配当なし

一	○既習内容の理解を確認する。	・「おぼえているかな?」に取り組む。	図既習内容について解決の仕方を理解している。
---	----------------	--------------------	------------------------

* 単位のしくみ 1時間(新規追加)

1	○長さ、重さ、体積などそれぞれの量の単位の関係を知り、単位についての理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の単位を振り返り、接頭語「キロ(k)」「ミリ(m)」に着目する。 ・接頭語キロ(k)が1000倍を意味していることや、1mLのように接頭語ミリ(m)がつく単位の表される量を1000倍するとミリ(m)がとれて1Lとなることをとらえる。 ・単位の関係を活用した単位換算に取り組む 	図長さ、重さ、かさについて、それぞれの量の単位の関係を理解している。
---	---	--	------------------------------------

9. 広さを調べよう [面積のはかり方と表し方] 下p.12~29, 127

[指導時期] 11月上旬~下旬 [指導時数] 12時間(+1時間)

- 【単元の目標】
- 面積について単位と測定の意味を理解し、面積を計算によって求めることができるようにするとともに、面積についての量感を豊かにする。
 - 関・面積を数値化して表すことのよさや、計算によって求められることの便利さに気づき、身の回りの面積を求めるなど生活に生かそうとする。
 - 考・面積について、量や乗法の学習を基に、単位の何こ分で数値化して表すことや、辺の長さを用いて計算で求められることを考え、とらえることができる。
 - 技・長方形、正方形の面積を、公式を用いて求めることができる。
 - 知・面積について、単位と測定の意味、長方形や正方形の面積は計算によって求められることやその求め方、**面積の単位間の関係**を理解するとともに、面積についての量感を身につける。

時	目標	学習活動	おもな評価規準
(1) 広さの表し方 下p.12~15 2時間			
1	[プロローグ] ・p.12の絵を提示し、日常生活の中で面積を比べる場面や陣取りゲームを取り上げ、自由に話し合いながら面積についての興味・関心を高めるようにする。 ・所要時間は10分程度		
	○面積の比べ方をいろいろな方法で考え、面積を比べることができる。	・陣取りゲームで得られた図形の面積の比べ方を考える。	図既習の量の場合を基に、いろいろな方法で面積の比べ方を考えようとしている。
2	○面積の単位「平方センチメートル (cm ²)」を知り、面積の意味について理解する。	・陣取りゲームで得られた図形の面積の表し方を考える。 ・面積の単位「平方センチメートル (cm ²)」を知る。	図面積の意味や面積の単位「平方センチメートル (cm ²)」を理解している。
(2) 長方形と正方形の面積 下p.16~23 3時間			
3	○長方形、正方形の面積を計算で求める方法を理解し、面積を求める公式をつくることができる。	・長方形、正方形の面積を計算で求める方法を考える。 ・「公式」の意味を知り、長方形、正方形の面積の公式をまとめる。	図面積は計器による測定でなく、縦横の辺の長さから計算で求められることの便利さに気づいている。 図面積の公式を用いて、長方形、正方形の面積を求めることができる。
4		・公式を用いて、長方形や正方形の面積を求めたり、辺の長さを求めたりする。	

		<ul style="list-style-type: none"> ・周りの長さが等しい長方形や正方形の面積を調べ、周りの長さが等しくても面積が異なる図形があることをおさえる。 	
5	○既習の長方形や正方形の面積を求める学習を活用して、長方形を組み合わせた図形の面積の求め方を考え、面積を求めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・長方形を組み合わせた図形の面積を、分割したり、補ったりするなどのいろいろな考えで求める。 ・他者の考えを読み取り、図や式などで説明する。 <p>*デジタルコンテンツがあります。</p>	<p>図どの考えも既習の長方形や正方形の形を基にして求めていることに気づき、既習を活用するよさを認めている。</p> <p>図長方形を組み合わせた図形の面積の求め方を、求積方法が既習である長方形や正方形に分割するなどして考え、図や式などを用いて説明している。</p>
(3) 大きな面積の単位 下p. 24~27 5時間			
6	○面積の単位「平方メートル(m^2)」を知り、辺の長さがmの場合も、長方形や正方形の面積の公式が適用できることを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・長方形の形をした教室と正方形の形をした理科室の面積の求め方を考える。 ・面積の単位「平方メートル(m^2)」を知る。 ・辺の長さがmで表されていても、面積の公式が使えることを確認する。 	<p>図辺の長さがmで表された長方形や正方形の面積も、面積の公式を適用して求められることを理解している。</p>
7	○面積の単位 m^2 と cm^2 の関係を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・$1m^2$は何cm^2になるか調べる。 ・紙を使って、$1m^2$の正方形を作り面積の量感をつかむ活動に取り組む。 	<p>図面積の単位m^2とcm^2の関係を理解している。</p>
8	○面積の単位「アール(a)」「ヘクタール(ha)」「平方キロメートル(km^2)」を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・1辺の長さを10mや100mにしたときの面積を考え、面積の単位「アール(a)」「ヘクタール(ha)」を知る。 	<p>図面積の単位「a」「ha」「km^2」を理解している。</p>
9		<ul style="list-style-type: none"> ・町の面積を調べ、面積の単位「平方キロメートル(km^2)」を知る。 ・$1km^2$は何m^2になるか調べる。 	
10	○面積の単位の相互関係を、長さの単位間の関係をもとに考察し理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・単位正方形の1辺の長さに着目して$1m^2$, 1a, 1ha, $1km^2$の関係を調べる。 ・単位正方形の1辺の長さが10倍になると、面積は100倍になることをとらえる。 ・単位正方形の1辺の長さが10倍になると、面積は100倍になることの原因を考える。 	<p>図$1cm^2$, $100cm^2$, $1m^2$, 1a, 1ha, $1km^2$で表される正方形の1辺の長さから、正方形の1辺の長さが10倍になると面積は100倍になる関係を見出し、説明している。</p> <p>図面積の単位「a」「ha」「km^2」の相互関係を理解している。</p>
まとめ 下p. 28~29, 127 2時間			
11	○学習内容を適用して問題を解決する。 ○算数的活動を通して学習内容の理解を深め、面積についての興味を広げる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「力をつけるもんだい」に取り組む。 ・「やってみよう」身の回りのいろいろな物の面積を、見当をつけてから調べる。 	<p>図学習内容を適切に活用して、活動に取り組もうとしている。</p> <p>図学習内容を適用して、問題を解決することができる。</p>
12	○学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・「しあげ」に取り組む。 	<p>図基本的な学習内容を身につけている。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・【発展】巻末p. 127の「おもしろ問題にチャレンジ!」に取り組み、単元の学習内容を基に面積についての理解を深める。 		

10. 小数のしくみを調べよう [小数のしくみ] 下p. 30~45

[指導時期] 1 1月下旬~1 2月中旬 [指導時数] 1 3時間

- 【単元の目標】**
- 小数の意味や表し方及びその加法や減法についての理解を深め、用いることができるようにする。
 - 関・ 1/10未満の小数の表し方や小数の加法や減法の計算の仕方について、十進位取り記数法のよさに気づき、整数や小数の仕組みと関連づけて考え、生活や学習に用いようとする。
 - 考・ 整数や小数の仕組みに着目して、1/10未満の小数の表し方や仕組み、数の相対的な大きさや小数の加法や減法の計算の仕方をとらえ、表現することができる。
 - 技・ 1/100の位、1/1000の位を用いて小数を表し、その加法や減法の計算をすることができる。
 - 知・ 1/10未満の小数の表し方を知り、整数と同じ仕組みで表されていることを理解し、数の相対的な大きさや小数の加法や減法について理解を深める。

時	目 標	学 習 活 動	おもな評価規準
(1) 小数の表し方 下p. 30~34 2時間			
1	[プロローグ] ・ p. 30の写真を提示し、身の回りから小数表示のものを話題として取り上げ、小数第二位以下のものもあることに気づくとともに、小数の仕組みについての興味・関心を高めるようにする。 ・ 所要時間は10分程度	○1/10の単位に満たない大きさの表し方を理解し、1/100の位までの小数の書き方、読み方を知る。	・ 水差しに入る水のかさを調べ、0.1Lより小さいはしたの表し方を考える。 ・ 1/100の位までの小数の書き方と読み方をまとめる。
			関既習の整数や小数の仕組みを基に、0.1より小さいはしたの量を、小数を用いて表そうとしている。 関1/100の位までの小数の体積や長さを読むことができる。
2	○1/1000の位までの小数の書き方、読み方を知り、小数の表し方について理解する。	・ 新幹線の線路の幅の1.435mという数について、それぞれの位の数字が表す大きさを調べる。 ・ 0.001mの書き方と読み方を知る。 ・ 1kg325gをkg単位で表し、単名数の表し方を知る。	関前時の学習を基に、0.01より小さいはしたの数の表し方について考え、説明している。 関1/1000の位までの小数の長さや重さを読むことができる。
(2) 小数のしくみ 下p. 35~40 5時間			
3	○1, 0.1, 0.01, 0.001の関係について理解する。 ○小数の構成や、位取りの仕組みについて理解する。	・ 1, 0.1, 0.01, 0.001の関係を調べる。 ・ 4.384の数の構成を調べる。 ・ 4.384の位取りを調べる。 ・ 「1/100の位(小数第二位)」「1/1000の位(小数第三位)」の意味を知る。	関小数の構成について、整数の場合と同じように考え、説明している。 関1, 0.1, 0.01, 0.001の関係を理解している。
4	○小数の大小関係について理解する。	・ 数直線を用いて、小数の大小を比べる。	関小数の大小の比べ方を理解している。
5	○小数の相対的な大きさについて理解する。	・ 2.45は0.01の何こ分か、面積図を見て考える。 ・ 「算数のおはなし」を読み、小数の歴史を知り、小数についての興味を広げる。	関小数について、0.01を単位として相対的な大きさでとらえることができる。
6	○小数の多様な見方をする通して、小数についての豊かな感覚を身につける。	・ 3.45を数直線上に表す。 ・ 整数と小数の和とみたり、0.01の何こ分ととらえたりするなど、3.45のいろいろな表し方を考える。	関3.45を多様な見方で表したりとらえたりしようとしている。 関3.45を多様な見方をして、それを表すことができる。
7	○小数を10倍した数や1/10にした数について理解する。	・ 0.74を10倍した数や1/10にした数の並び方を比べる。	関整数と小数が同じ仕組みであることを基に、10倍した数や1/10にした数について考え、説明している。 関小数を10倍した数や1/10にした数の

			表し方を理解している。
(3) 小数のたし算とひき算 下p. 41~43 4時間			
8	○1/100の位, 1/1000の位の小数の加法の筆算の仕方を理解し, その計算ができる。	・1.75+2.64の計算の仕方を考える。 ・小数の加法の筆算の場合も位をそろえて筆算すればよいことをまとめる。	㊦1/100の位, 1/1000の位の小数の加法の筆算の仕方について, 既習の整数や小数の場合を基にして考え, 式を用いて説明している。 ㊦1/100の位, 1/1000の位の小数の加法の筆算ができる。
9		・和の0.800は0.8であることを確かめる。 ・小数の桁数がそろっていない場合の筆算の仕方を考える。	
10	○1/100の位, 1/1000の位の小数の減法の筆算の仕方を理解し, その計算ができる。	・3.64-2.76の計算の仕方を考える。 ・小数の減法の筆算の場合も位をそろえて筆算すればよいことをまとめる。	㊦1/100の位, 1/1000の位の小数の減法の筆算の仕方について, 既習の整数や小数の場合を基にして考え, 式を用いて説明している。 ㊦1/100の位, 1/1000の位の小数の減法の筆算ができる。
11		・小数の桁数がそろっていない(減数の方が桁数が多い)場合の筆算の仕方を考える。	
まとめ 下p. 44~45 2時間			
12	○学習内容を適用して問題を解決する。	・「力をつけるもんだい」に取り組む。	㊦学習内容を適用して, 問題を解決することができる。
13	○学習内容の定着を確認し, 理解を確実にする。	・「しあげ」に取り組む。	㊦基本的な学習内容を身につけている。

11. どのように変わるか調べよう [変わり方調べ] 下p. 46~52, 128

[指導時期] 12月中旬 [指導時数] 5時間

- 【単元の目標】**
- 伴って変わる2つの数量について, それらの関係を表を用いて調べ, 式に表して, 2つの数量の関係を明らかにする能力を伸ばす。
 - ㊦ 伴って変わる2つの数量の関係について, 関係を表で調べることのよさや, 関係を□や○などを用いた式に簡潔に表せることのよさに気づき, 生活や学習に用いようとする。
 - ㊧ 伴って変わる2つの数量の関係を, 表を用いて手際よく調べたり, □や○などを変数を表す記号として用いて式に表し関係を簡潔にとらえたりすることができる。
 - ㊨ 伴って変わる2つの数量の関係を, 表に表して変化の特徴を読み取ったり, □や○などを用いた式に表したりすることができる。
 - ㊩ 伴って変わる2つの数量の関係を, 表を用いて調べる方法や, □や○などを用いた式の表し方について理解する。

時	目標	学習活動	おもな評価規準
(1) 変わり方調べ 下p. 46~51 4時間			
1	○伴って変わる2つの数量の関係(和が一定)を表に表したり, □や○を用いて式に表したりして, その関係をとらえることができる。	・巻末折り込みの時計盤を使って, ㊦と㊧の時計盤の針が指す時刻の数の関係について調べる。 ・表を用いて, ㊦の時計盤の針が指す時刻の数が1ずつ増えると, ㊧の時計盤の針が指す時刻の数がどのように変わるか調べる。	㊦ 伴って変わる2つの数量の関係に関心をもち, 関係を表を用いて調べることのよさに気づいている。 ㊦ 変数を表す記号として, □や○をとらえて式に表している。 ㊦ 伴って変わる2つの数量の関係を, 表を用いて調べる方法を理解している。
2		・㊦と㊧の時計盤の針が指す時刻の数の関係を式に表す。	
3	○伴って変わる2つの数量の関係(差が一定)を表に表したり, □や○を用いて式に表したりして, その関係	・1辺が1cmの正三角形を1列に組み合わせていくときの, 正三角形の数と周りの長さの関係を調べる。 ・表に正三角形の数と周りの長さをまとめ,	㊦ □や○などを用いた式に表し, 数量の関係を簡潔にとらえている。 ㊦ 伴って変わる2つの数量の関係を, 表から変化の特徴を読み取り, □や○

	をとらえることができる。	その関係を式に表す。 ・正三角形の数が20個のときの周りの長さ、周りの長さが14cmのときの正三角形の数をそれぞれ求める。	などを用いて式に表すことができる。
4	○伴って変わる2つの数量の関係（商が一定）を表に表したり、□や○を用いて式に表したりして、その関係をとりとることができる。	・1辺が1cmの正方形を階段状に並べたときの段の数と周りの長さの関係を調べる。 ・表に段の数と周りの長さをまとめ、その関係を式に表す。 ・段の数が50段のときの周りの長さ、周りの長さが60cmのときの段の数をそれぞれ求める。 ・「算数新発見！」を読み、比例の見方を知る。	☒□や○などを用いた式に表すことよさに気づいている。 ☒□や○などを用いた式に表し、数量の関係を簡潔にとらえている。
まとめ 下p. 52, 128 1時間			
5	○学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。 ・【発展】巻末p. 128の「おもしろ問題にチャレンジ！」に取り組み、単元の学習内容を基に変わり方についての理解を深める。	・「しあげ」に取り組む。	☒基本的な学習内容を身につけている。

* おぼえているかな？ 下p. 53 時数配当なし

—	○既習内容の理解を確認する。	・「おぼえているかな？」に取り組む。	☒既習内容について解決の仕方を理解している。
---	----------------	--------------------	------------------------

12. 小数のかけ算とわり算を考えよう [小数のかけ算とわり算] 下p. 54～74

〔指導時期〕 1月中旬～2月上旬 〔指導時数〕 15時間

- 【単元の目標】
- 小数×整数，小数÷整数，整数÷整数で商が小数になる場合の計算の意味や計算の仕方について理解し，それらの計算ができるようにするとともに，小数の理解を深めるようにする。
 - ☒ 小数×整数，小数÷整数の計算の意味や計算の仕方を，既習の整数の乗法や除法の計算と関連づけてとらえようとする。
 - ☒ 小数×整数，小数÷整数の計算について，既習の整数の乗法や除法の計算を基に考え，具体物や図，式を用いて答えを求めたり，計算の仕方をまとめたりすることができる。
 - ☒ 小数×整数，小数÷整数，整数÷整数で商が小数になる場合の計算をすることができる。
 - ☒ 小数×整数，小数÷整数，整数÷整数で商が小数になる場合の計算の意味や計算の仕方を理解する。

時	目 標	学 習 活 動	おもな評価規準
(1) 小数のかけ算 下p. 54～61 5～6時間			
1	【プロローグ】 ・ p. 54の図を提示し，小数を10倍，100倍， $1/10$ ， $1/100$ にした数の小数点の位置や，乗法計算における被乗数と積の関係を振り返って話し合いながら，新たな課題となる乗数や除数が整数の場合の小数の乗除計算について，興味・関心を高めるようにする。 ・ 所要時間は10分程度		
	○小数×整数の計算の意味を理解し，その計算ができる。	・ 立式し，その式になる理由を考える。 ・ 0.3×6 の計算の仕方を考える。 ・ 0.3×6 の計算の仕方をまとめる。 ・ 計算練習をする。	☒小数×整数の計算の意味や計算の仕方を，既習の整数の乗法計算と関連づけて考えようとしている。
2	○ $1/10$ の位までの小数に1位	・ 3.6×7 の計算の仕方を考える。	☒ $1/10$ の位までの小数に1位数をかけ

	数をかける筆算の仕方を理解し、その計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3.6×7 の筆算の仕方を考える。 ・ 3.6×7 の筆算の仕方をまとめる。 ・ 計算練習をする。 	<p>る筆算の仕方を、既習の整数の乗法の筆算を基に図や式を用いて考え、説明している。</p> <p>図 $1/10$ の位までの小数に1位数をかける筆算ができる。</p>
3	○ $1/10$ の位までの小数に1位数や2位数をかける筆算（被乗数が純小数の場合や、積の末位が0になる場合を含む）の仕方を理解し、その計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 0.2×4, 0.8×5, 7.5×4 の筆算（被乗数が純小数の場合や、積の末位が0になる場合）の仕方を考える。 ・ 計算練習をする。 ・ 1.8×34 の筆算の仕方を考える。 ・ 1.8×34 の筆算の仕方をまとめる。 ・ 上記の型の計算問題と文章題に取り組む。 	<p>図 $1/10$ の位までの小数に1位数や2位数をかける筆算（被乗数が純小数の場合や、積の末位が0になる場合を含む）ができる。</p> <p>図 $1/10$ の位までの小数に1位数や2位数をかける筆算（被乗数が純小数の場合や、積の末位が0になる場合を含む）の仕方を理解している。</p>
4	○ $1/100$ の位の小数に1位数をかける筆算の仕方を理解し、その計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1.36×7 の計算の仕方を考える。 ・ 1.36×7 の筆算の仕方を考える。 ・ 1.36×7 の筆算の仕方をまとめる。 ・ 計算練習をする。 <p>【発展】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「算数新発見！」を読み、買うジュースの本数が2倍、3倍、…になると、全部のジュースの量も2倍、3倍、…になることを知る。 	<p>図 $1/100$ の位の小数に1位数をかける筆算の仕方を、既習の乗法の筆算を基に乗法の性質を用いて考え、説明している。</p> <p>図 $1/100$ の位の小数に1位数をかける筆算ができる。</p>
5	○ 学習内容を適用して問題を解決する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「力をつけるもんだい」に取り組む。 	<p>図 学習内容を適用して、問題を解決することができる。</p>
(2) 小数のわり算 下p. 62~70 7時間			
6	○ 小数÷整数の計算の意味を理解し、その計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 立式し、その式になる理由を考える。 ・ $3.6 \div 3$ の計算の仕方を考える。 ・ $3.6 \div 3$ の計算の仕方をまとめる。 ・ 計算練習をする。 	<p>図 小数÷整数の計算の意味や計算の仕方を、既習の整数の除法計算と関連づけて考えようとしている。</p>
7	○ $1/10$ の位までの小数を1位数でわる筆算の仕方を理解し、その計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ $7.2 \div 3$ の計算の仕方を考える。 ・ $7.2 \div 3$ の筆算の仕方を考える。 ・ $7.2 \div 3$ の筆算の仕方をまとめる。 ・ 計算練習をする。 	<p>図 $1/10$ の位までの小数を1位数でわる筆算の仕方を、既習の整数の除法の筆算を基に図や式を用いて考え、説明している。</p> <p>図 $1/10$ の位までの小数を1位数でわる筆算ができる。</p>
8	○ $1/10$ の位までの小数を1位数や2位数でわる筆算（商が純小数になる場合を含む）の仕方を理解し、その計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ $6.3 \div 7$ の筆算（商が純小数になる場合）の仕方を考える。 ・ 上記の型の計算問題と文章題に取り組む。 ・ $95.2 \div 28$ の筆算の仕方を考える。 ・ 上記の型の計算問題と文章題に取り組む。 	<p>図 $1/10$ の位までの小数を1位数や2位数でわる筆算（商が純小数になる場合を含む）ができる。</p> <p>図 $1/10$ の位までの小数を1位数や2位数でわる筆算（商が純小数になる場合を含む）の仕方を理解している。</p>
9	○ $1/100$ の位の小数を1位数や2位数でわる筆算（商が純小数になる場合や、被除数が純小数の場合を含む）の仕方を理解し、その計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ $9.48 \div 4$ の筆算の仕方を考える。 ・ 計算練習をする。 ・ $0.24 \div 6$ の筆算（商が純小数になる場合や、被除数が純小数の場合）の仕方を考える。 ・ 計算練習をする。 	<p>図 $1/100$ の位の小数を1位数や2位数でわる筆算の仕方を、既習の除法の筆算を基に除法の性質を用いて考え、説明している。</p> <p>図 $1/100$ の位の小数を1位数や2位数でわる筆算（商が純小数になる場合や、被除数が純小数の場合を含む）ができる。</p>
10	○ 小数÷整数で余りを求める計算で、余りの大きさにつ	<ul style="list-style-type: none"> ・ $46.7 \div 3$ の筆算をして、商を一の位まで求める。 	<p>図 余りを、単位とする小数の何こ分として考え、説明している。</p>

	いて理解し、その計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・余りの大きさを考える。 ・$46.7 \div 3$の筆算の検算をする。 ・余りの小数点の位置についてまとめる。 ・適用問題に取り組む。 	<input type="checkbox"/> 小数 \div 整数で余りがでる計算ができる。
11	<input type="checkbox"/> 整数 \div 整数でわり進みをするときの筆算の仕方を理解し、その計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・$6 \div 4$の筆算の仕方を考える。 ・わり進むとき、被除数に0を補って計算を続けることをおさえる。 ・適用問題に取り組む。 	<input type="checkbox"/> 小数点以下に0を補うことで、整数の場合と同じように計算が続けられることを考えている。 <input type="checkbox"/> 整数 \div 整数の筆算で、わり切れるまで計算ができる。
12	<input type="checkbox"/> 小数 \div 整数でわり進みをするときの筆算の仕方を理解し、その計算ができる。 <input type="checkbox"/> 商を概数で表すことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・$1.7 \div 5$の筆算の仕方を考える。 ・適用問題に取り組む。 ・$13 \div 3$の計算をして、商は四捨五入して上から2桁の概数にするには、何の位で四捨五入すればよいか考える。 ・適用問題に取り組む。 	<input type="checkbox"/> 商を四捨五入して概数で求めることができる。
(3) 小数の倍 下p. 71~72 1時間			
13	<input type="checkbox"/> 小数倍の意味について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・40m, 60m, 50m, 30mは、20mの何倍かを求める。 ・何倍かを表すときに小数を用いることがあることをまとめる。 	<input type="checkbox"/> 小数倍の意味について、図などを用いて考え、説明している。 <input type="checkbox"/> 小数倍の意味を理解している。
まとめ 下p. 73~74 2時間			
14	<input type="checkbox"/> 学習内容を適用して問題を解決する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「力をつけるもんだい」に取り組む。 	<input type="checkbox"/> 学習内容を適用して、問題を解決することができる。
15	<input type="checkbox"/> 学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・「しあげ」に取り組む。 	<input type="checkbox"/> 基本的な学習内容を身につけている。

*** おぼえているかな? 下p. 75 時数配当なし**

—	<input type="checkbox"/> 既習内容の理解を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「おぼえているかな?」に取り組む。 	<input type="checkbox"/> 既習内容について解決の仕方を理解している。
---	--	--	--

*** どんな計算になるのかな? 下p. 76~77 1時間**

1	<input type="checkbox"/> 加減乗除法を適用して問題を解決することを通して、演算を決定する能力を伸ばす。	<ul style="list-style-type: none"> ・問題文を読み、それぞれどんな式を立てればよいかを考えて解決する。 	<input type="checkbox"/> 既習を活用して、どんな式で解決すればよいか考えようとしている。 <input type="checkbox"/> 適切な立式をして、問題を解決することができる。
---	---	---	--

13. 分数をくわしく調べよう [分数] 下p. 78~89

〔指導時期〕 2月中旬~下旬 〔指導時数〕 9時間

- 【単元の目標】**
- 分数についての理解を深めるとともに、同分母の分数の加法及び減法の意味や計算の仕方を理解し、それらを用いることができるようにする。
 - 1より大きい分数を仮分数や帯分数で表すことのそれぞれのよさに気づき、学習に用いようとする。
 - 単位分数の大きさに着目して、同分母の分数の加法及び減法の計算の仕方を考えたり、同値分数について小数と異なる分数の特徴としてとらえたりすることができる。
 - 1より大きい分数を仮分数や帯分数で表したり、同分母の分数の加法及び減法の計算をしったりすることができる。

☑ ・分数の意味や表し方について理解を深めるとともに、同値分数に着目することや同分母の分数の加法及び減法の意味や計算の仕方について理解する。

時	目 標	学 習 活 動	おもな評価規準
(1) 分数の表し方 下p. 78~83 4時間			
1	[プロローグ] ・ p. 78の図を提示し、分数についてこれまでに学んできたことを振り返り、自由な話し合いなどをしながら、等分したときの大きさの表し方などについての興味・関心を高めるようにする。 ・ 所要時間は10分程度		
	○真分数、仮分数の意味を知る。	・ 1/3mの2こ分, 3こ分, 5こ分, 1/4mの3こ分, 11こ分の長さの表し方を考える。 ・ 「真分数」「仮分数」の意味を知る。	☑真分数、仮分数ともに単位分数の何こ分の大きさで表されることをとらえている。 ☑真分数、仮分数の意味を理解している。
2	○帯分数の意味を知り、適用問題に取り組み、真分数、仮分数、帯分数についての理解を深める。	・ 「帯分数」の意味を知る。 ・ 図や数直線から読み取った量を帯分数や仮分数に表す。	☑帯分数や仮分数の大きさについて、図や数直線から読み取ることができる。 ☑帯分数の意味を理解している。
3	○数直線を基にして、仮分数を帯分数になおす方法を理解する。	・ 数直線を基に単位分数による仮分数、帯分数の構成を考える。 ・ 整数と同値の仮分数について調べる。 ・ 仮分数を帯分数になおす方法を考える。	☑分数の大きさや表し方について、数直線を基に考え、説明している。 ☑仮分数を帯分数になおす方法を理解している。
4	○数直線を基にして、帯分数を仮分数になおす方法を理解する。	・ 整数が単位分数の何こ分かを考える。 ・ 帯分数を仮分数になおす方法を考える。 ・ 仮分数と帯分数の大きさの比べ方を考える。	☑帯分数を仮分数になおすことができる。 ☑帯分数を仮分数になおす方法を理解している。
(2) 分数の大きさ 下p. 84~85 1時間			
5	○大きさが等しく表し方の異なる分数があることを理解する。	・ 数直線を見て、分母が違っていても大きさの等しい分数があることを知る。 ・ 分子が同じとき、分母が大きい分数の方が大きさが小さいことを知る。	☑分数の特徴として、大きさの等しい分数があることをとらえ、数直線を使って説明している。 ☑分子と分母の数から分数の大小関係を理解している。
(3) 分数のたし算とひき算 下p. 86~88 3時間			
6	○同分母の分数の加減計算の意味を理解し、その計算ができる。	・ 立式を考える。 ・ 4/5+3/5の計算の仕方を考える。 ・ 同分母の真分数や仮分数の加減計算の仕方をまとめる。 ・ 計算練習をする。	☑同分母の真分数や仮分数の加減計算の仕方を、単位分数の何こ分ととらえて考え、図や式を用いて説明している。 ☑同分母の分数の加減計算の意味を理解している。
7	○同分母の帯分数の加法計算の仕方を理解し、その計算ができる。	・ 1と3/5+2と1/5の計算の仕方を考える。 ・ 整数部分、分数部分どうしをたす方法と、仮分数になおして計算する方法があることをまとめる。 ・ 計算練習をする。	☑同分母の帯分数の加法計算の仕方を、帯分数の構造や既習の真分数の計算の仕方を基に考え、図や式を用いて説明している。 ☑同分母の帯分数の加法計算ができる。
8	○同分母の帯分数の減法計算の仕方を理解し、その計算ができる。	・ 同分母の帯分数の加法計算の仕方を基に、2と4/5-1と3/5の計算の仕方を考える。 ・ 帯分数の分数部分がひけないときは、整数部分から繰り下げた1を分数になおして計算する方法と、帯分数を仮分数になおして	☑同分母の帯分数の減法計算の仕方を、帯分数の加法計算の仕方を基に考え、図や式を用いて説明している。 ☑同分母の帯分数の減法計算ができる。

		計算する方法があることをまとめる。 ・計算練習をする。	
まとめ 下p. 89 1時間			
9	○学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。	・「しあげ」に取り組む。	☒基本的な学習内容を身につけている。

14. 箱の形を調べよう [直方体と立方体] 下p. 90~102, 129

[指導時期] 2月下旬~3月上旬 [指導時数] 9時間

- 【単元の目標】**
- 図形についての観察や構成などの活動を通して、直方体や立方体、平面上や空間のものの位置の表し方について理解し、図形についての見方や感覚を豊かにする。
 - ☒ 直方体、立方体の特徴が生活に多く生かされていることに気づき、身の回りにおけるそれらの形をしたものについて関心をもち調べようとする。
 - ☒ 立体図形の構成要素に着目して、直方体、立方体の特徴や性質を考え表現したり、直方体に関連づけて、直線や平面の垂直や平行の関係や、ものの位置の表し方をとらえたりすることができる。
 - ☒ 直方体、立方体の展開図や見取図をかいたり、平面上や空間にあるものの位置を表したりすることができる。
 - ☒ 直方体、立方体の特徴や性質、直線や平面の垂直と平行の関係、平面上や空間にあるものの位置の表し方を理解し、図形についての豊かな感覚をもつ。

時	目 標	学 習 活 動	おもな評価規準
(1) 直方体と立方体 下p. 90~95 4時間			
1	[プロローグ] ・ p. 90の写真を提示し、3つの質問をしてどの箱かあてるゲームを行うことを通して、面の形に着目し、直方体、立方体への興味・関心を高めるようにする。 ・ 所要時間は10分程度		
	○身の回りの箱の形に関心を持ち、直方体、立方体の意味を理解する。	・身の回りのいろいろな箱を面の形に着目して仲間分けする。 ・箱の形の特徴を調べる。 ・「直方体」「立方体」の意味を知る。	☒身の回りの箱の形の特徴に気づき、面の形に着目して箱の形を分類しようとしている。 ☒直方体、立方体の意味を理解している。
2	○構成要素に着目して直方体、立方体の特徴、性質を理解する。	・直方体や立方体の面、辺、頂点についての特徴、性質を調べる。 ・「平面」の意味を知る。 *デジタルコンテンツがあります。	☒直方体、立方体の特徴や性質について、構成要素に着目して見出し、まとめている。 ☒直方体、立方体の特徴や性質を理解している。
3	○直方体、立方体の展開図をかきことができる。	・「展開図」の意味を知る。 ・展開図をかき、それを切り抜いて直方体を組み立てる。 *デジタルコンテンツがあります。	☒直方体、立方体の展開図は、一通りではないことに気づき、いろいろな展開図をかこうとしている。 ☒辺や面のつながりや位置関係に着目して、直方体、立方体の展開図のかき方を考えている。
4		・展開図をかき、それを切り抜いて立方体を組み立てる。 ・適用問題に取り組む。	☒直方体、立方体の展開図をかきことができる。
(2) 面や辺の垂直・平行 下p. 96~99 3時間			
5	○直方体の面と面の垂直、平行の関係を理解する。	・写真を見て、直方体や立方体が積み重ねられる理由を考える。 ・直方体の面と面の交わり方、並び方を調べ	☒身の回りでは直方体が多く使われていることに気づき、その特徴に着目して理由を考えようとしている。

		る。	図直方体の面どうしの垂直，平行の関係を理解している。
6	○直方体の辺と辺の垂直，平行の関係や，面と辺の垂直の関係を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 直方体の辺と辺の交わり方，並び方を調べる。 直方体の面と辺の交わり方を調べる。 身の回りのものの中から，垂直や平行になっている面や辺を見つける。 	図直方体の辺どうしの垂直，平行の関係や，面と辺の垂直の関係を理解している。
7	○直方体，立方体の見取図をかくことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 「見取図」の意味を知り，そのかき方を考える。 辺どうしの平行の関係をを用いて，直方体の見取図をかく。 	<p>図辺どうしの平行の関係に着目して，直方体，立方体の見取図のかき方を考えている。</p> <p>図直方体，立方体の見取図をかくことができる。</p>
(3) 位置の表し方 下p.100~101 1時間			
8	○平面上や空間にある点の位置の表し方について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 平面上の点の位置の表し方を考える。 平面上の点の位置の表し方をまとめる。 平面上の点の表し方を基に，空間にある点の位置の表し方を考える。 空間にある点の位置の表し方をまとめる。 	<p>図平面上や空間にある点の位置を表すことができる。</p> <p>図平面上にある点の位置は2つの数で，空間の場合は3つの数で表すことができることを理解している。</p>
まとめ 下p.102, 129 1時間			
9	○学習内容の定着を確認し，理解を確実にする。	<ul style="list-style-type: none"> 「しあげ」に取り組む。 	図基本的な学習内容を身につけている。
	<ul style="list-style-type: none"> 【発展】巻末p.129の「おもしろ問題にチャレンジ!」に取り組む，単元の学習内容を基に立方体についての理解を深める。 		

*** かたちであそぼう「デジタル数字」 下p.103 1時間**

1	○さかさまから見ても形が変わらない図形を探す活動を通して，図形に親しみ，その楽しさを味わう。	<ul style="list-style-type: none"> デジタル数字で表された0から9までの数で，さかさまから見ても変わらない数を探す。 上で見つけたさかさまから見ても形が変わらない数字を組み合わせるなどして，11から999までの数や，時刻などについて，さかさまから見ても変わらないものを見つける。 <p>*デジタルコンテンツがあります。</p>	<p>図数字を工夫して組み合わせて，さかさまから見ても形が変わらない数をつくろうとしている。</p> <p>図形の特徴に着目し，さかさまから見ても数が変わらない数字を組み合わせて，別の数のつくり方を考え，説明している。</p>
---	--	--	---

*** 考える力をのばそう「共通部分に目をつけて」 下p.104~105 1時間**

1	○2量の共通部分に着目し，問題構造を図に表して問題を解決することを通して，問題構造を簡潔にとらえられる図のよさに気づくとともに，問題を解決する能力を高める。	<ul style="list-style-type: none"> 小プールと大プールを泳いだ回数と，合計の距離から，それぞれのプールの長さを求める問題を，図を基に考える。 上で表した図を用いて，説明する。 適用問題に取り組む。 	<p>図図に表して問題構造を簡潔にとらえようとしている。</p> <p>図共通部分に着目して，関係を単純化してとらえ，言葉や図，式を用いて説明している。</p>
---	--	--	--

* 4年のふくしゅう 下p.106~110 3時間

1 5 3	○既習内容の理解を確認する。	・問題に取り組み, 解決する。	☑既習内容について解決の仕方を理解している。
-------------	----------------	-----------------	------------------------

* 算数おもしろ旅行 下p.111~114 2時間

1	○数学史や和算にふれることを通して, 算数・数学に関する興味を広げる。	・ガウスが1から100までの数の和を瞬時に求めたという話にふれ, その計算方法を考える。 ・ガウスの方法と同じ考えを使って, 俵杉算を解く。	☑昔の人たちの取り組んでいた算数の問題に関心を持ち, 取り組もうとしている。
2	○クイズやパズルを通して, 考える楽しさや算数のおもしろさにふれる。	・図形や数に関するパズルなどを解く。 ・組み合わせを考える問題などを解く。	☑クイズやパズルに積極的に取り組もうとしている。